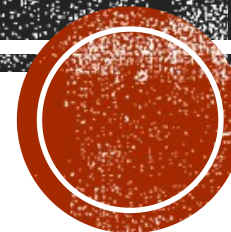


戦争回避のために

◇戦争不安の時代を考える視点

2023. 2. 4

@岡山県弁護士会館



戦争不安の時代・二つの処方箋

◇ウクライナ戦争・台湾有事・北朝鮮ミサイル

⇒ 日本人に高まる戦争の不安

◇二つの処方箋

*戦争がないとは言えない⇒戦争に備える

*戦争の悲惨・問題解決にならない⇒戦争を回避する

◇問われていること

* 守りたいものは？戦争の備えとは？戦争をどう回避？

戦争不安の時代・守るべきものは？

◇70年以上戦争がなかった国

条件：米ソ関係の安定 敵を作らない外交 抑制的防衛政策

⇒ **一発のミサイルも着弾せず、一人の戦死者もなかった**

その国家像を守りたい

◇ロシア・中国vs米国・・・**大国対立が戦争要因**の時代

* 大国の一方につけばいい時代ではない

他方、「米国の側において安全」という成功体験

「戦争に備える」とはどういうことか

◇戦争の要因 名誉と恐怖の相互作用

⇒戦争は拡大する・・・始める前に避ける

◇戦争への備え = 攻撃することではなく、被害に耐えること

* CSISの想定: 中国に勝つが、膨大な犠牲

教訓・・・そういう戦争になってはいけない

* ウクライナ: ミサイルから安全な場所はない

* 日本: 狭い国土・自給できない・少子化

なぜロシアを止められなかったか？

＜戦争を防ぐための教訓＞

◇伝統的抑止概念の破綻

* 米国が派兵を否定⇒だが、派兵すれば世界戦争のリスク

⇒**大国を止めるには、世界戦争を覚悟するのか？**

* 冷戦敗者の不満・大国外交の不在

◇プーチンの動機と誤算

* 戦勝への楽観と将来への悲観

⇒楽観させない**専守防衛**と悲観させない**外交**

日本だけ平和であればいいのか？

◇ウクライナ戦争が示した危機

* 大国による主権蹂躪・・・国連という秩序の危機

* 核不使用という「合意」の危機

* 戦争犯罪という人道の危機

⇒ **だが、「正義」を貫けば戦争は終わらない**

だから、「非戦の秩序」を作る

◇日本の課題：自分の有事を回避＋非戦・非核の国際世論

国際世論は、無力ではない

◇国連総会決議：反米でも反独裁でもなく、非戦

ロシア非難・即時撤退決議 141:35:5

拒否権行使への説明義務決議 無投票コンセンサス

併合無効決議 143:35:5

人権理事会のロシア資格停止決議 93:58:24

ロシアの賠償責任決議 94:73:14

◇気候変動などの課題

大国が**価値観**で対立すれば解決しない⇒中小国の役割

戦争とは何か、戦争と人間

◇戦争とは、国家目的達成のための暴力

⇒ ほかに目的達成の手段はないのか？

◇暴力:個人なら犯罪・戦争なら英雄

⇒兵士は、個人としてトラウマを抱える

◇戦争は究極の抑圧である

戦争犯罪とは別に、戦争そのものが人間性を破壊する

■避けられる戦争を避けるのが、政治の使命

■戦争を自分事とする原点:人としてどう向き合うか

平和とは何か、なぜ戦争回避か

◇平和とは、戦争の恐怖と抑圧がない状態

「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なもの・・・」

⇒ 抑止力では、この平和はない

◇対立の時代、戦争に訴えない「普遍的道徳」が崩壊する時代だから⇒ **戦争回避外交が必要**

「台湾有事」の回避のために

◇抑止と安心供与

*抑止deterrence 反撃の脅しで戦争意志を抑圧

⇒カギは相手の心理 誤算・損害許容すれば破綻する

*安心供与reassurance 戦争を辞さない利益を保証

⇒相互のレッドライン認識 緩衝域の確保

◇対立を戦争にしないために

⇒抑止・軍拡競争には限界

安心供与が重要な時代

台湾をめぐる対立構造と安心供与

◇緊張の構図・・・米国の政治的挑発と中国の軍事的威嚇

* 中国 台湾の独立には武力を辞さず

* 米国 武力行使なら台湾支援・防衛

* 台湾 統一を望まず、戦争を望まず

◇焦点は台湾独立＋戦争は誰も得しない

⇒ **そこに安心供与の余地・怠れば予期せぬ衝突も**

* 「ドンバスは自国」は× 「一つの中国」は○～△

米中関係の今後と日本の対応

◇ペロシ・クライシスから危機管理(安定的競争)へ

* G20サミットに向けたメッセージ交換

バイデンCNN 前例ない攻撃があれば台湾防衛

米NSS「いずれの一方的現状変更にも反対・台湾独立を支持せず」

習政治報告 武力行使は「外部の干渉と少数の分離独立分子が対象」

⇒日本だけ勇ましいことを言っている場合ではない

北朝鮮の核・ミサイルはどこに向うか

◇核への異常な固執・・・米国からの体制の安全

* 米朝交渉・・・94枠組み合意 18トランプ金正恩会談

* 中国・ウクライナで、米国の戦略が不在

⇒交渉カードから、対米抑止としての核戦力の完成へ

本筋は、体制保証と核放棄・・・ますます困難に

◇ロシアの核の脅しのなかで

* 米国の対応が見えない⇒核拡散の恐れ

* 大国の核不使用・核軍縮に向けた国際世論を！

安保3文書：幻想と願望の戦略

◇戦略の要諦は、可能な手段による目標追求

* 自由で開かれた秩序を守る・・・**過大な目標**

・経済大国・技術先進国・・・**幻想の自画像**

・有志国を増やす外交＝敵を作る外交

◇このままでは中国と戦えない危機感⇒戦争に備える

* 焦点は、「反撃能力」・サイバー能力

* 5年間で抑止という**願望**・・・**防衛費を倍増**

・5年の間に戦争が起きないのはなぜか？

「敵基地攻撃」で安全になるのか？

◇ミサイルから国民の命を守るために

＊「撃ち落とせないから、撃つ前に叩く」

＜攻撃着手が前提と言うが＞

ミサイルは行き先不明 トマホークでは間に合わない

＊相手本土に「反撃」すれば、相手も反撃する

ミサイルの撃ち合い⇒「国民を守る」ことにならない

◇最も確実な方法は、戦争にしないこと

戦争のリアリティーを欠く日本の政治

◇国防＝「国民の命」ではなく、「国家」を守ること

* 命を守るためには、戦争しないこと

* 津波なら逃げろ・戦争なら逃げるなという論理

⇒ 守るに値する国にすることが政治の課題

◇「戦争に備える」ことになっているか？

* 戦争継続のために・・・国民の被害をなくすこと

全島避難・シェルター・Jアラートの限界

* 経済への影響は？

台湾有事と日本有事・・・宿命ではない

◇台湾有事＝日本有事は、日本の選択

*台湾有事とは中台戦争、米国が参戦すれば米中戦争

*日本の基地からの出撃は、事前協議事項

⇒ Yes:日本有事 No:日米同盟崩壊

政治の悪夢・・・避けたいなら、戦争を回避せよ

◇東アジア諸国共通の課題

*米中の二者択一をさせるな

憲法とは、非戦の国家像

◇「9条を守れ」が通じない時代

* 9条 = 繁栄の成功体験 ⇒ 何を信じるかわからない若者

◇守るべきは、「戦争をしない」国の姿

* 憲法前文(前出)と自衛隊員の宣誓

「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、**もって国民の負託**
に

こたえる」…国民は何を負託するか？

◇戦争は政治の選択・政治は国民の選択